

学校評価（自己評価）結果公表シート

山武市立睦岡小学校

I 学校の教育目標

【 笑顔で学ぶ 心豊かな たくましい 児童の育成 】

- 1 笑顔で学ぶ児童の育成 → 根気強く楽しく学ぶ児童 (根気)
- 2 心豊かな児童の育成 → 友達を大切にする児童 (勇気)
- 3 たくましい児童の育成 → 元気いっぱいがんばる(挑戦する)児童 (元気)

II 本年度、重点的に取り組む目標や計画

【学校経営の指標】 児童一人一人が笑顔でいるか

- 学校評価アンケート（児童・保護者・教師）の該当項目（85%以上）
 - ・学校へ行くのを楽しみにしている⑮
 - ・学校に満足している⑰
- 1 基礎学力の定着
 - ⇒ICTを効果的に活用した授業実践等（家庭学習含む）により、学力の向上を図る。
 - 学校評価アンケート（児童・保護者・教師）の該当項目（80%以上）
 - ・授業に意欲的⑦
 - ・基礎的な学力⑧
 - ・家庭学習⑨
 - 県標準学力検査（全学年教科数22）の県平均以上の教科数の割合（70%以上）
- 2 豊かな人間関係の構築
 - ⇒体験活動と教育相談を充実させ、情操を養い、他者を思いやる道徳的実践力を高める。
 - 学校評価アンケート（児童・保護者・教師）の該当項目（85%以上）
 - ・地域人材、施設、自然の活用②
 - ・友達と仲良く⑪
 - ・挨拶⑫
 - ・いじめの予防、早期発見⑯
 - 睦岡っ子アンケートの実施（月1回実施）
 - いじめ・体罰に関する調査（解消90%以上）
 - 道徳授業の完全実施・授業参観時の道徳授業実践（年間35時間・1回以上）
- 3 基本的な生活習慣の徹底
 - ⇒家庭・地域と連携した健康教育（保健・食育・体力等）の推進を図る。
 - 学校評価アンケート（児童・保護者・教師）の該当項目（85%以上）
 - ・運動、体力向上⑬
 - ・朝食、歯磨き⑭
 - 食育・はみがき指導・元気アップ・プラン大作戦等の実施（学期に1回）
 - 治療率の向上（う歯）（40%以上）
- 4 家庭・地域との連携
 - ⇒HP、デジタル連絡ツールによる情報発信と学校運営協議会からの意見を集約する。
 - 学校評価アンケート（児童・保護者・教師）の該当項目（85%以上）
 - ・学校便りやHPで情報を伝える③
 - ・家庭との連絡⑤
 - HPの更新頻度（週1回以上）
 - 各種行事等への保護者参加状況（40%以上）

Ⅲ 評価項目の取組状況と達成状況

評価項目	結果	理由
基礎学力の定着	B	<input type="checkbox"/> 学校評価アンケート3項目 <input type="checkbox"/> 県標準学力検査結果
豊かな人間関係の構築	B	<input type="checkbox"/> 学校評価アンケート4項目 <input type="checkbox"/> 睦岡っ子アンケート実施状況・結果 <input type="checkbox"/> いじめ・体罰に関する調査結果 <input type="checkbox"/> 道徳授業（授業参観実施含む）実施状況
基本的な生活習慣の徹底	B	<input type="checkbox"/> 学校評価アンケート2項目 <input type="checkbox"/> 食育・はみがき指導等の実施状況 <input type="checkbox"/> 治療率結果
家庭・地域との連携	B	<input type="checkbox"/> 学校評価アンケート2項目 <input type="checkbox"/> HP更新状況 <input type="checkbox"/> 各種行事等への保護者参加状況

Ⅳ 学校評価の総合的な評価

評価	理由
B	本年度の重点的な各取組項目について、概ね目標を達成することができた。教育相談等への取組により友達と仲良く過ごすことができていると感じている児童が多く概ね学校生活に対して満足していると考えられる。また、家庭・地域との連携では、保護者に丁寧に情報発信（HP・たより等）したことで学校での活動を伝えることができ、保護者の各種行事等への参加率が高まりつつある。

※ⅢとⅣの項目の評価結果の内容

S	目標を十二分に達成し、期待をはるかに上回る成果をあげた
A	目標を十分に達成し、期待された以上の成果をあげた
B	目標を概ね達成し、期待された成果をあげた
C	目標の達成が不十分であり、期待された成果に及ばなかった
D	目標を達成できず、通常の実力で得られるはずの成果が得られなかった

Ⅴ 今後の取り組むべき課題

教育資源活用への対応	体験活動（睦岡ファーム等）充実への対応策の検討
読書活動の充実への対応	児童の読書への関心を高める対応策の検討